

[名前] 大橋 喜美子

[職位] 教授 乳児保育学科学科長

[保有学位] 社会学修士

[担当科目] 保育の計画と評価、乳児保育の歴史、環境領域指導法Ⅱ、

[専門分野] 教育学 乳幼児保育学

[学外活動]

日本保育者養成教育学会理事、日本保育学会会員、日本子ども社会学会会員、国際幼児教育学会会員、日本赤ちゃん学会会員、日本家庭教育学会会員、全国保育士養成協議会理事(平成 28 年 6 月まで)、全国保育士養成協議会近畿ブロック理事(平成 28 年 6 月まで)、兵庫県高砂市子ども・子育て会議委員長 (平成 29 年 6 月)、滋賀県甲賀市子ども・子育て応援団会議会長、社会福祉法人光寶 淡路保育園(大阪市)監事、社会福祉法人清松学園 かえでこども園理事(西宮市)、社会福祉法人柳辻福祉会柳辻こども園評議員(京都市)、社会福祉法人心華会ひいらぎこども園(宇治市)評議員、三重県伊賀市保育方針検討会 SV

[主な教育・研究業績]

【主な著書】(過去 10 年間)

- ・編著 考え、実践する教育・保育実習 (株保育出版社(2011)
- ・共著 児童家庭福祉 (株あいり出版(2012)
- ・共著 乳児保育 (株あいり出版(2012)
- ・編著 理論と子どもの心を結ぶ保育の心理学 (株保育出版社(2012)
- ・編著 保育のこれからを考える保育・教育課程論 (株保育出版社(2012)
- ・共編著 現場の視点で学ぶ保育原理 教育出版社(株)(2016)
- ・単著 「0・1・2 歳児の保育の中にみる教育—子どもの感性と意欲を育てる環境づくり—」平成 23 年度科学研究費補助金(基盤研究 C 課題番号 0353020 研究代表者)(株北大路書房(2017)
- ・共著 保育カリキュラムの基礎理論—教育課程・全体的な計画の学び (株あいり出版(2018)
- ・共著 乳児保育(保育士等キャリアアップ研修テキスト 1) pp88-114 (株中央法規(2018)
- ・共著 新時代の保育双書 第3版「保育内容『ことば』」 pp71-86 (株みらい(20018)
- ・共著 あなたと生きる発達心理学 pp37-48 (株ナカニシヤ出版 (2019)
- ・共編著 保育内容指導法「言葉」乳幼児と育む豊かなことばの世界 pp1-12 (株建帛社(2019)
- ・共編著 新時代の保育双書 第4版「保育内容『乳児保育』」 (株みらい(2021)

【論文】(過去 10 年間)

- ・共著 母子家庭等の子どもを中心とした生活実態(ヒアリング)調査 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振

興助成事業財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会報告書(○流石智子、大西雅裕、浦田雅夫、大橋喜美子)(2011)

- ・単著 乳幼児の保育・教育を巡る“これまで”“今”“これから”と専門職 神戸女子大学 教職課程年報No. 6P38-41(2012)
- ・単著 子ども・子育て新制度における保育の質と課題 立命館大学産社論集第 51 巻 第 1 号(通巻 165 号 pp.101-113(2015))
- ・共著 幼保一体化における保育の計画・質に関する研究—幼稚園・保育所(園)の保育者の差異に着目して— 神戸女子大学文学部紀要第 49 巻 P.65~77 平成 23 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C 課題番号 0353020) 研究代表者:大橋喜美子(2016)大橋喜美子 共同研究者:三宅茂夫
- ・共著 大人の発話スタイルが乳児の顔注視行動に与える影響:歌いかけ (Infant-Directed Singing) に着目して 日本音声学会「音声研究」48-57 (2016)文部科学省科学研究費補助金 (新学術領域 24119005, 代表: 明和政子), 日本学術振興会科学研究費補助金 (特別研究員奨励費 13J04767, ○代表: 今福理博; (基盤研究(C) 23531094, 代表: 大橋喜美子)
- ・単著 自ら気づき自ら学ぶグローバルな視野をもつ保育者養成 教師教育研究第 30 号 pp25-32 全国私立大学教職課程協会 (2017)
- ・単著 総合保育園で育まれる自己肯定感と保育カリキュラム—デンマークL市とG市における事例から考察— 神戸女子大学文学部紀要第 51 巻 pp.89-99(2018) (平成 23 年度科学研究費補助金(基盤研究 C 課題番号 0353020 研究代表者:大橋喜美子)
- ・単著 子どもの感性和意欲を育てる保育環境についての研究—0-5 歳児の発達の基盤に着目して— 日本家庭教育学会「日本家庭教育研究 25 号」pp.23-33 (2020)
- ・単著 保育内容「環境」領域に関する研究 立命館大学産業社会学部紀要産社論集、第 56 巻 2 号 pp105-122 (2020)

【国際シンポジウム企画】

- ・ シンポジウムテーマ「科学することの感性和造形」京都造形芸術大学、メルボルン大学 Early child center の交流講演会企画及びコーディネーター (2008)
- ・ 幼保一体化に向けた保育カリキュラム—自己尊重感を育てるデンマークの保育からの学び— 大野睦子氏 (デンマークの総合保育園元保育士、デンマーク在住) 平成 23 年度科学研究費助成事業基盤研究(C)(課題番号 23531094)、平成 27 年度行吉学園教育・研究助成(課題No.K2747)の助成を受けて実施。(研究代表者:大橋喜美子) (2015)

【国内シンポジウム企画】

- ・ 平成 17 年度(2005) 子育て・子育ての変容と保育士養成—変わりゆくこと、変わらないこと— 第 44 回 全国保育士養成協議会セミナーシンポジウム (2005)
- ・ 子育て・子育てに求められる生活環境を考える 大学コンソーシアムひょうご神戸・子育て支援に関するシンポジウム (2011)
- ・ 日本保育学会第 64 回大会シンポジウム 映像の中に見る子どもの発達と保育(2011)

- ・ 平成 24 年度 生きるということ今改めて問うー響きあうところ 生かしあういのちー
第 51 回 全国保育士養成 協議会セミナーシンポジウム (2012)
- ・ 令和元年度 保育の質と人間形成への創造ー守るべきこと・変わるべきことー
第 58 回 全国保育士養成協議会セミナー (2019)
- ・ 日本保育学会第 67 回大会 シンポジウム: 幼保一体化に向かうカリキュラムと保育の質ー 乳幼児の発達と環境を中心にー (2014)
- ・ 日本保育学会第 68 回大会 実習生からみた保育環境のとらえ方に関する研究 (2015)

【DVD】原案・企画・監修

- ・ 乳幼児の発達と保育 こころとからだを育てるあそびの環境 vol.1「0歳児」
- ・ 乳幼児の発達と保育 こころとからだを育てるあそびの環境 vol.2「1歳児～2歳児」
- ・ 乳幼児の発達と保育 こころとからだを育てるあそびの環境 vol.3「3歳児～5歳児」

【学会発表】過去 10 年間

「日本子ども社会学会第 23 回大会 幼保一体化と自己尊重感を育てる保育カリキュラムーデンマークの保育実践からの考察ー (2016)」「日本保育学会第 69 回大会 自己尊重観を育むデンマークの保育ーS市の学習と教育のビジョンからー考察ー (2017)」「日本保育学会第 72 回大会『子どもの感性と意欲を育てる保育環境と保育の質』 (2019)」「日本保育学会第 73 回大会『言語獲得期における子どもの発達と保育』 (2020)」など 16 件